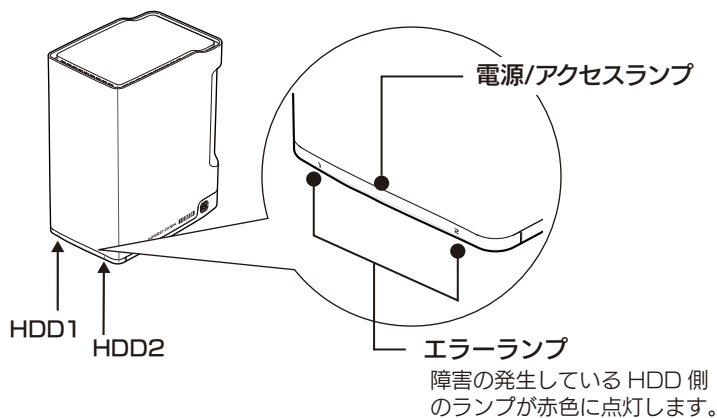


ハードディスク交換ガイド HDS2-UTシリーズ

故障ディスクを見分ける

本体のランプ表示で見分ける

前面のエラーランプでハードディスクの状態を監視することができます。ハードディスクが故障した場合は、エラーランプが赤色に点灯します。



Raid Monitor で見分ける

RAID MONITORは、ディスクモード、リビルド進捗状況、本製品のドライブ情報、RAIDステータスが確認できるアプリケーションです。ディスク故障時には、POPアップウィンドウで通知するとともに、指定したメールアドレスにメールを送信するように設定することが可能です。



RAID MONITORは、以下の URL よりダウンロードしてお使いください。
<http://www.iodata.jp/support/product/hds2-ut/>

■ランプ表示

RAID モード	状態	システム状態	電源 / アクセスランプ	エラーランプ		
				(HDD1)	(HDD2)	
ミラーリングモード (RAID1)	設定中・設定モード	モード設定中	紫色点滅	消灯	消灯	
	通常	動作中	紫色点灯 / 点滅 (アクセス時)	消灯	消灯	
	エラー	HDD1 / 未接続・故障		赤色点灯	消灯	
		HDD2 / 未接続・故障	消灯	赤色点灯		
	リビルド	HDD1→HDD2 リビルド中	HDD2→HDD1 リビルド中	水色点滅	消灯	赤色点滅
				水色点滅	赤色点滅	消灯
		ファン停止	HDD1→HDD2 リビルド中に HDD1 が故障 ^{※1}	水色点滅	赤色点灯 ^{※2}	赤色点滅
赤色点滅					赤色点灯 ^{※2}	
設定中・設定モード	モード設定中	青色点滅	消灯	消灯		
ストライピングモード (RAID0)	通常	動作中	青色点灯 / 点滅 (アクセス時)	消灯	消灯	
	エラー	HDD1 / 未接続・故障	青色点滅	赤色点灯	消灯	
		HDD2 / 未接続・故障		消灯	赤色点灯	
	ファン停止		赤色点滅 ^{※3}	消灯	消灯	

※1 リビルド中のエラーの場合は、データの入っているドライブにエラーが発生していることを表しています。

この場合、そのハードディスク 1 台のみで電源を再投入し、パソコンに接続して、なるべく多くのデータを別のハードディスクなどに退避 (コピー) してください。

退避後は、2 台の新規のハードディスクにてミラーリングを再構築してください。

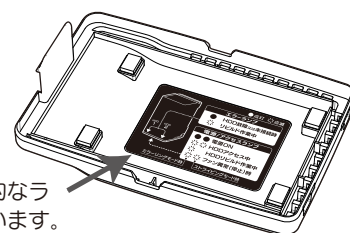
※2 エラーの状況により点滅または消灯する場合があります。

※3 本製品のファンが故障しました。

いったん電源を切り、再度電源を入れても同じ状態の場合は、修理を依頼してください。

・新しくハードディスクを交換したときのランプ表示は、ハードディスクを交換する前にお使いになっていた RAID モードの「設定中・設定モード」の表示となります。

！ ヒント



上カバーの裏に簡易的なランプ表示を記載しています。

ハードディスクを交換する

内蔵ハードディスク(以下HDD)に異常が発生し、正常動作しなくなった場合は、お客様ご自身で内蔵HDDを交換することができます。最初に以下の「作業の前に」をお読みいただき、内容を充分にご理解の上で慎重に作業を行ってください。

作業の前に

- ・RAIDモードをRAID0(ストライピング)でご利用の場合、以下手順を行ってもデータの復元はできません。
- ・大事なデータは必ずバックアップを行った上で作業してください。
- ・交換用HDDをお手元に準備してください。交換用HDDは必ず右記弊社製オプション品の交換用HDDをご使用ください。
- ・プラス(+ドライバー)をご用意ください。作業に必要となります。
- ・故障していないHDDを交換した場合、すべてのデータが失われます。
- ・故障したHDD番号を間違えないように充分ご注意ください。

別売オプション品

内蔵ハードディスク故障時の交換用として、オプション品の交換用内蔵ハードディスクをご用意しております。最新情報は、弊社ホームページ(<http://www.iodata.jp/>)でご確認ください。

品名:HDI-OPシリーズ

※交換用HDDは、ご使用中のHDDと同じ容量のものをお買い求めください。
例) HDS2-UT4.0Tの場合 HDI-OP2.0をお使いください。

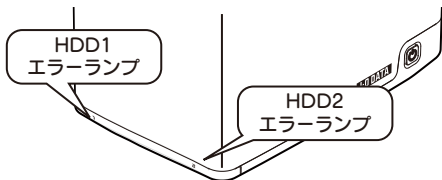
※上記オプション品以外のご使用は動作保証対象外となります。

！ ご注意ください

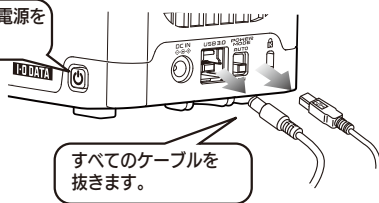
動作中や電源を切った直後は、本製品表面が非常に熱くなっています。内蔵HDDの交換作業は、十分に時間を置いてから行ってください。作業の結果、データを消した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

- 1 異常が発生した内蔵HDDの番号をメモします。ランプ表示やRaid Monitorから、内蔵HDDのどちらに異常が発生したかを確認することができます。

※ランプの表示に関しては、表面【ランプ表示】をご覧ください。

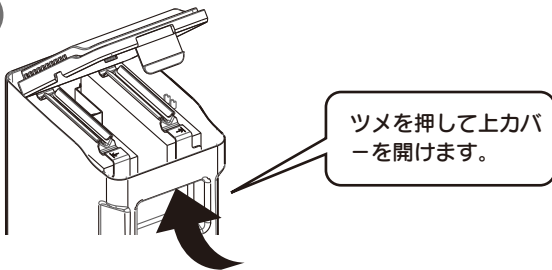


- 2 電源ボタンを押して電源を切ります。



すべてのケーブルを抜きます。

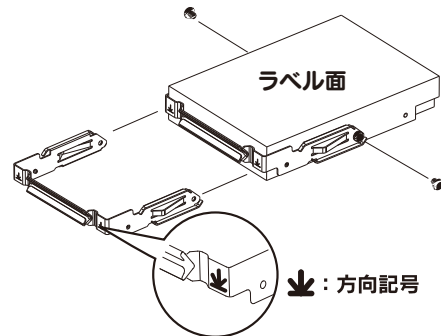
- 3 ツメを押して上カバーを開けます。



- 4 交換するHDDが下側になるよう、本製品を横に寝かせます。下段の取手金具の方向記号の矢印が、下向きになるように寝かせます。

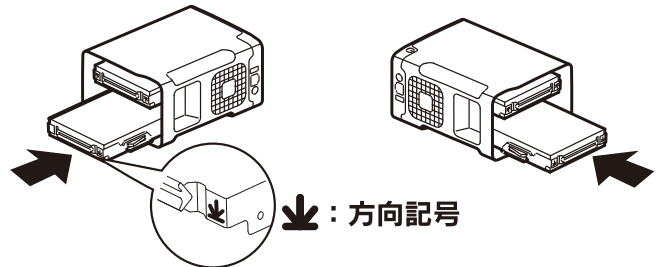
取手金具をつまみ、引き出します。(正常なディスクは抜かないでください。)
※HDDを取り出す際には、多少力が必要です。

- 5 取り出したHDDの取手金具のネジ(2本)をドライバーで取り外し、交換用HDDに取り付けます。取手金具を取り付けるときは、HDDラベルが上になるように置き、取手金具の方向記号の矢印が下向きになるように取り付けます。



- 6 交換用HDDの取手金具の方向記号の矢印が下向きになるよう注意し、本製品に差し込みます。

※向きが逆になっている場合、コネクタが破損する場合があります。



- 7 本製品を起こして、上カバーを取り付けます。

以上で、交換完了です。

この後、再度ケーブル類を取り付け、電源ボタンを押し、電源を入れます。

⇒ミラーリング(RAID1)でご利用の場合、自動的に修復作業(リビルド)が始まり、再びミラーリング状態が再構築されます。

※リビルド中は、電源/アクセスランプが氷色に点灯し、修復中のHDDエラーランプが赤色に点滅します。

・RAID構築までの所要時間*

HDS2-UT4.0の場合: 約9時間

HDS2-UT6.0の場合: 約6時間

※所要時間は、製品のモデル容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。ご使用のモデルにあわせ目安としてください。

⇒ストライピングモード(RAID0)でご利用の場合、【セットアップガイド】をご覧ください。ハードディスクをフォーマットしてください。